

## 小学校四年

## チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第四学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、話すこと・聞くことにチャレンジしましょう。

今から一回だけ、音声による問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

四年二組では、国語の時間に、「自分たちの生活を見直そう」というテーマで、自分たちで調べたことをもとにして、お互いに発表し合うことになりました。

ゆみさんは、「学級みんながいつ読書をしているのか」について調べたことを発表することにしました。表紙のグラフは、ゆみさんが発表で使う資料です。あなたも、四年二組の学級の一人になったつもりで、ゆみさんの発表を聞きましょう。

わたしは、「学級のみんながいつ読書をしているのか」について調べて考えたことを発表します。

はじめに、調べた理由を話します。わたしたちの学級は、図書館で本をかりている人が多いようです。わたしには、読書をする時間があまりないのに、みんなはいつ読んでいるのか不思議に思いました。だから、学級のみんながいつ読書をしているのかを調べることにしました。

このグラフを見てください。これは、いつ読書をしているのか調べたことをまとめたグラフです。このグラフから分かったことを発表します。

一つ目は、朝自習では学級の全員が本を読んでいる、ということです。このことから、朝自習の時間は、みんなにとって大切な読書の時間だということがよく分かりました。

二つ目は、休み時間に読んでいた人は五人、昼休みに読んでいた人が三人しかないということです。このことから、昼休みや休み時間は、外で遊ぶ人などもあるので、本を読むために使っている人は少ないことが分かりました。

三つ目は、家で本を読んでいる人が多かったことです。こんなに多くの人が、家で本を読んでいるとは思いませんでした。

最後に、わたしが考えたことを発表します。まず、休み時間や昼休み、そして、家に帰ってからの時間をうまく使うと、もっと多くの本が読めそうだ、ということです。たくさん本を読んでいる友達にインタビューしたところ、休み時間や昼休みにも少しずつ読んでいる、ということでした。また、わたしは、家で、テレビを見ている時間が長いので、これからはその時間を読書に使って、本をたくさん読みたいと思います。

このように、わたしは、ちょっとした時間の使い方を工夫すれば、もっとたくさん本を読むことができると思いました。

放送はこれで終わりです。

それでは、問題用紙を開いて始めてください。